

闘争速報

自交総連東京

全都ハイタク
自教労協共同版

東京都台東区根岸 4-11-10
TEL (3871) 4115 (代)
発行責任者 林 悦夫

春闘特別号
No. 1

4月8日から日本型ライドシェアサービスが東京でスタートするなか、自交総連東京地連のなかま52人は、ライドシェア推進派である川邊健太郎氏が代表のIT企業、LINEヤフー(株)とデジタル庁が入庁する紀尾井町にて、ライドシェア解禁阻止抗議宣伝を実施しました。



タクシーが足りない状況ではない



ライドシェア 公共交通ではない



タクシー産業を破綻させるな

ギグワーカー 労働者の権利なし

憲法で保障された労働者としての権利がない」とし「弱い立場の人を新たに日本に増やすことは反対だ」と声を大にして話しました。

抗議行動終了後「今後で話してくれました。」



昨年11月からライドシェア解禁阻止行動として、衆議院会館前座り込み行動や決起集会、マスコミ前や楽天のある二子玉川駅前宣伝に続き、紀尾井町にて展開

の対話に努め、移動困難者問題を解決したい思いは同じ」と川邊氏はSNSを投稿しました。

主催者あいさつ時の徳永委員長や高城本部書記は「東京ではタクシーが足りない状況ではない」とし「大都市に車両が集中したため、地方は過疎化が進んだからだ」

と訴えます。

「100年以上、移動の足となってきたタクシー。ライドシェアは公共交通ではない」と木保副委員長。月村執行委員は「ライドシェアで働く労働者の立ち位置は、自由に働けるギグワーカーとして推奨しているが、社会保険や最低賃金など、

24春闘 第1回単組代表者会議

日時 4月17日(水)13:30～
場所 南部労政会館 第5・6会議室
議題 ①2024年春闘の経過と今後のたたかいについて
②RS阻止の取り組み、その他



日本のタクシーは、12年をかけて安心・安全、サービスを向上させてきました。タクシー産業を破綻させないためにも危険なライドシェアを引き続き阻止していきましょう。